



市長所信表明演述

子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまちへ

6月9日、第28回久慈市議会定例会議において、
遠藤謙一市長が所信表明演述を行いました。今回は、
所信表明演述の内容を要約してお知らせします。

はじめに

3月に行われた市長選挙におきまして、再任を賜り、引き続き3期目の市政を担わせていただくことになりました。

久慈市にとって最大の課題は、人口減少と少子化を乗り越え、持続可能な社会をいかに築くかであります。市民参加と協働の理念を基本に、市民の皆さまとの対話重視の市政を継続し、課題解決に向け全力で取り組みます。

新型コロナウイルス

感染対策の推進

感染対策の要であるワクチン接種については、希望する市民全員が1日も早く接種が完了するよう取り組みます。

多くの事業者が厳しい経営を余儀なくされていることから、今後も事業転換に伴う設備資金や事業継続に必要な運転資金の調達を支援するため、市独自の利子及び保証料の補給を実施します。

疲弊した地域経済を回復させるため、地域内の消費

循環を生み出す施策についても検討します。

洋上風力発電事業の実現

地域経済及び雇用の拡大に大きなインパクトを与えられるものであり、変革の起爆剤として期待されることから、久慈市沖への導入に向け、環境省委託事業を活用し、風況や再生可能エネルギーの地産地消に向けた調査を実施するとともに、県と連携した、再エネ海域利用法に基づく久慈市沖の区域指定についても積極的に取り組みます。

エタノール実証プラ

ント稼働支援

実証実験の成功に向けた支援を行うとともに、産業振興や脱炭素化社会の実現などさまざまな領域における連携を図ります。

カーボンニュートラル宣言企業などの事業所の誘致

再生可能エネルギーが豊富であるなど久慈地域の特性に応じた事業所をはじめ、多種多様な業種の誘致を推進するとともに、既立地企

業のフォローアップや魅力発信に努め雇用の確保を図るほか、久慈市へ就職する若者を支援し地元定着の促進に努めます。

移住支援サイトや首都圏で開催する移住相談会を通じて移住定住を促進します。

防災対策の充実

豪雨災害、日本海溝を震源とする最大クラスの津波などの発生も懸念されており、想定される大規模災害に対応した久慈市総合防災ハザードマップの更新、津波避難訓練を実施します。また、岩手県が3月に公表した津波浸水想定を基に、避難所の見直しや環境整備を進めるとともに、迅速な避難行動を促すことで市民の皆さまの生命を守ることを第一に取り組みます。

地域防災の「共助」の要である自主防災組織の市内全域での結成と、防災士の育成に取り組み、地域防災力の向上に取り組みます。近年激甚化している大雨災害への対策として河川改修や排水路の整備など浸水対策を進めます。

道路網の整備促進

重要物流道路の代替・補完路に位置づけられる国道281号は、県北沿岸地域と県都盛岡市を結び、久慈港の利用促進や新たな企業立地につながる重要な路線であることから、「90分構想」の実現及び高規格化に向けて関係機関と一体となって取り組みます。

橋梁等の道路施設の老朽化については、計画的な点検と修繕により、適切な維持管理の実施に努めます。

平庭高原の「日本一の白樺美林」の再生

白樺美林の多くが寿命を迎えていることから、専門家による技術指針や管理計画を策定し、「日本一の白樺美林」の再生に取り組みます。

子育て環境の整備

少子化・人口減少対策として、重要な施策となることから、今年度新たに助産師を配置し産後ケアの充実を図ります。

子供の医療費助成については、中学生までの医療費全額給付、助成方法の改善

を実施するとともに、3歳未満については所得制限撤廃を実現しており、今後さらなる助成内容の拡充について検討します。

子育てしやすい職場等の環境づくりを進めるため、ワークライフバランスの推進を図り、男女が共に仕事や家庭、地域に参画するための取り組みを進めます。

医療介護体制の充実

医師の確保については、県立久慈病院に不足する診療科の医師充足を求めているほか、県と共同で実施している医師養成事業に取り組み、養成医師の市内医療機関への配置について、引き続き働きかけます。

介護体制の充実については、高齢者が介護や支援が必要な状態となっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。

「琥珀」と恐竜化石、三陸沿岸道路を活用した観光交流事業の推進

三陸沿岸道路の活用については、整備を進めている

久慈広域道の駅が今年度末に完成を迎える予定であり、開業に向けた準備を本格化し、広域市町村の連携により、既存道の駅や観光施設等に足を運んでいただくためのゲートウェイになるよう取り組みます。

地域資源を活かし、農山漁村における自然や生活文化体験などの充実を図り、交流人口の拡大に努めます。

「歴史」で繋ぐ交流連

携推進

久慈出身の武将、大浦光信公と津軽地方を結ぶ歴史的な縁を基とし、関係する5つの自治体が連携して行う「歴史文化で結ぶ都市間交流事業」を展開し、各地との交流を深めるとともに、久慈市の歴史について多くの方が興味を持ち、学ぶ機会を提供します。

農林水産業の更なる

振興

農業の振興については、就農相談会や各種補助事業の実施により、営農面積の小さい小規模農業者が、持続可能な農業経営を行うことができる環境づくりに取

り組みます。

畜産業の振興については、畜産農家の経営安定を図るため草地の更新・整備など、粗飼料基盤整備や機械導入等に支援するとともに、肉用牛の増頭対策や価格差補てん事業を実施するなど、体質の強い産地づくりを推進します。

林業の振興については、森林整備を推進し、木質バイオマスの活用に向け、関係団体との連携や環境整備に取り組みます。

水産業の振興については、漁家の経営安定を図るため、ウニ、アワビの種苗等の放流や、ナマコの養殖、ギンザケ養殖事業の規模拡大など「つくり育てる漁業」を積極的に推進します。

市街地の活性化

やませ土風館と情報交流センターYOMUNOSUの連携による市街地全体の賑わい創出や回遊性の向上を図り、商店街への波及効果の促進に向け取り組みます。

総合運動公園の整備

スポーツレクリエーショ



久慈広域道の駅 イメージ